

平成 30 年度 美浦保育園の自己評価について

保育士等が保育の質の向上を図る目的で実施した自己評価を踏まえ、当園の保育の内容について園全体の評価として取りまとめたので公表致します。

自己評価の取り組みと目標

個々の保育実践の振り返りと自己評価の実施、新保育指針についての園内研修をもつ等、保育計画と保育実践の共通理解を図り、園全体での評価に繋げることで保育の質の向上に努めました。30年度は、各行事の係分担について課題が上がり園全体で検討し、各係がグループ単位で年間の目標やねらいをしっかりと立て、食育集会や全体集会、体育あそび、毎月の歌や手話ソング等を、しっかりと全職員におろすことができた。

今年度の評価点

- ・新保育指針についての勉強会や研修をもち、学ぶことができた。
- ・地域や家庭と行事を通して連携を取ることができた。
- ・リトミック、ロコモ体操、体育指導を取り入れることで子ども達の体の動きが良くなり、運動能力が高まった。

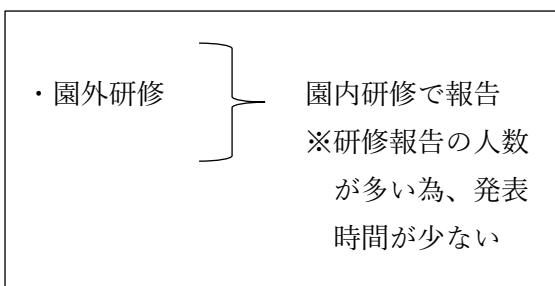
園全体評価

- ・各係（グループ）が活発に働き、職員におろすことができた。
- ・行事等、全職員が協力して円滑に進めることができた。
- ・園外研修で学んだことを、全体にしっかりとおろすことができなかった。日々の保育におわれ、報告するのがやっとだった。

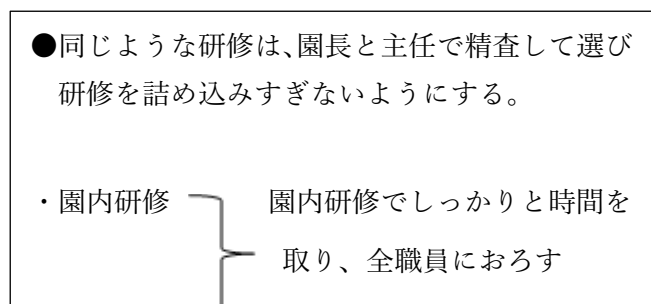
次年度の改善点

自己評価について職員間で話し合った中で、園外研修で学んだことを全職員にしっかりとおろすことができなかったとの意見が多くあがり、次年度は研修で学んだことをみなで共有し、良いものはどんどん全職員におろしていくことになりました。

【30 年度】 計画と実践



【令和元年度】 保育計画



総評

保育士自身の保育の振り返りから園全体への振り返りとなり、園全体で園外研修の見直しを図り、目標を見出すことができた。

令和元年度からは、上記のように園外研修を選定し、研修に行った職員が研修で学んだことをしっかりと全職員におろし、職員間で共通理解を深め保育の内容の充実につなげていきます。